

熱意だけじゃ解決しない

～法理論と経済理論がガチンコで考える子どもの貧困～

講 師： 後藤 弘子 (千葉大学法政経学部教授)
橘 永久 (千葉大学法政経学部教授)

残念なことです、「子どもの貧困」という言葉を耳にすることが多くなっています。本年度の公開講座では、「好きなお菓子をあまり食べられなくて可哀想」「親御さんと過ごせる時間が少なくて可哀想」といった感情論を敢えて徹底して排し、経済学と法学の理論の目で、「冷徹に」子どもの貧困について検討します。「貧困って何」という疑問から始め、子どもの貧困のどこが問題なのか、なぜ社会全体で解決策を考えなくてはいけないのか、どのような解決策が有効なのかを、聴衆の皆さんとの質疑応答を交え、2時間半、みっちりきっちりガチンコで考え抜きます。

< 開催日時 > 平成27年8月1日 (土) 14:00～16:30

< 開催場所 > 千葉大学 西千葉キャンパス
千葉市稲毛区弥生町1番33号
人文社会科学系総合研究棟2階 マルチメディア会議室

< 受講料 > 無 料 (事前申込不要、座席数80席)

< スケジュール >

14:00～14:40 公開講座 講師：橘 永久 教授
14:40～14:50 質疑応答
14:50～15:00 休憩時間
15:00～15:40 公開講座 講師：後藤 弘子 教授
15:40～15:50 質疑応答
15:50～16:00 休憩時間
16:00～16:30 参加者とパネルディスカッション



担当講師紹介

たちばな とわ
橋 永久

1965 年生まれ。専門は、途上国の貧困解決を考える「開発経済学」です。いつもは、ネパールやガーナで貧困について調べています。今回は、日本の子どもの貧困に、経済学の視点で挑戦します。

主要論文：“Does Community-based Management Improve Natural Resource Condition? Evidence from the Forests in Nepal,” *Land Economics*, Vol. 85, No. 1, pp. 107-131.



ごとう ひろこ
後藤 弘子

専門は刑事法。子どもが犯罪の被害者になったり、加害者になったりする場合、国や社会はどのような対応を行えばいいのかについて研究しています。今回は、非行のリスクファクターである子どもの貧困について、こども法の視点から考えます。

主著に、『法のなかの子どもたち』（岩波ブックレット、1998）、『犯罪被害者と少年法』（編著、明石書店、2005）、『ビギナーズ少年法』（共編著、成文堂、2005）など。



○ 会場案内図 ○
～西千葉キャンパス～

公開講座会場
人文社会科学系総合研究棟
2階 マルチメディア会議室

千葉大学までの交通

- ・ JR 総武線「西千葉駅」下車
徒歩約 10 分
※西千葉駅には快速電車は停車しませんのでご注意ください。
- ・ 京成千葉線「みどり台駅」下車
徒歩約 10 分
※自動車での入構はご遠慮ください。

正門
京成みどり台駅
方面はこちら

南門
JR 西千葉駅前

JR 西千葉駅



国立大学法人千葉大学法政経学部

URL <http://www.le.chiba-u.ac.jp/>